

and the operation of SST aircraft, WMO Technical note No. 95

- 8) Sutton, O.G. (小黒晴夫訳), 1955: 高速飛行における空気力学の諸問題, 飛行の科学 (The science of flight), みすず書房.  
9) 難波信吉, 1969: 高層気象観測資料の精度に

ついて, 東北技術だより第42号, 仙台管区気象台.

- 10) 片山 昭, 1962: 地球の熱収支, 気象研究ノート第13巻第2号.  
11) 和田英夫, 1969: 成層圏循環と長期予報, 長期予報新講, 地人書館.

## 第15期 第13回常任理事会議事録

日時 昭和45年2月9日 15.00~18.30

場所 気象庁第3会議室

出席者 山本理事長, 大田, 竹内, 根本, 朝倉, 岸保, 松本, 大井, 神山, 小平, 北川, 各常任理事

列席者 須田理事

報告 1月14日名古屋で大気物理研究所設立実行委員会が開かれた。日本地球電気磁気学会から中間圏大気力学, 稀薄大気物性の二部門を入れるよう要望があったのでこれを取り入れることにし, 当初の原案を若干変更することになった。なおこれに関連し, 山本理事長から大気物理研究所設立準備小委員会(学術会議内)の委員長および幹事として山本義一, 山元竜三郎がそれぞれあたることになった旨報告があった。

議題 議決事項:

1. 昭和45年度春季総会提出議題について

- (1) 学会賞受賞者選定規定の一部改正に関する件  
議題案につき理事会にはかり総会に提出し成立

をはかる。

- (2) 大会々場費の補助として大会参加者が会場費200円を拠出することについて

大会委員長の裁量に委せることにする。

2. 故正野教授記念論文集刊行案について  
準備委員会案を若干修正して承認した。

3. 学会奨励賞(仮称)について

検討委員会のまとめた奨励金とする案が大筋として認められた。

4. その他

- (1) 気象業務, 気象学研究及び気象学教育についての長期計画の推進について(神山理事長提案)  
長期計画委員会を再び設けることとし, 岸保理事に委員会の案を作ってもらおう。

- (2) 春, 夏季講演会を地方開催とすることの可否について

従来の方針どおりとする。従って夏季講演会は東京で開催する。

承認事項: 賛助会員日本原子力発電KK, 通常会員山下邦博ほか19名の入会を承認する。